第11表　主要な原油先物取引所の取引綱領(抜粋)

取引所	東京商品取引所 （TOCOM）	ニューヨーク商業取引所 （NYMEX）	ICE Futures Europe （旧ロンドン国際石油取引所）	ガルフ・マーカンタイル取引所 （GME）
特徴など	以下の理由から、アジア向け中東産原油の価格形成における東京商品取引所の原油先物価格の影響力は高くなっている。 ・スワップOTC市場では東商取の先物価格を対象とする取引が増えている。 ・アジア向け中東産原油の基準となっているプラッツ社の原油価格は、プラッツ社がスワップOTC市場で採取している。	ニューヨーク商業取引所（NYMEX）で取引されているWTI原油先物の価格が米市場での指標価格となっており、そのWTI価格に連動して域内で流通しているほとんどの原油価格が決定されている。	ICE Futures Europe(旧IPE)で取引されているブレント原油先物の価格が欧州市場での指標となっている。2001年にインターコンチネンタル取引所(アトランタ)に買収され、ICE Futures Europeとなっている。	スエズ以東のアジア市場向けの高硫黄原油の価格形成を狙って、GMEオマーン原油先物取引を開発し取引を行っている。□
取引対象	ドバイ原油の価格を指標とする中東産原油	WTI原油	ブレント原油	オマーン原油
取引単位	50キロリットル	1,000バレル （159キロリットル）	1,000バレル （159キロリットル）	1,000バレル （159キロリットル）
呼値と値段	円/1キロリットル （10円刻み）	USドル/1バレル （0.01ドル刻み）	USドル/1バレル （0.01ドル刻み）	USドル/1バレル （0.01ドル刻み）
最終決済価格	プラッツ社が発表する当該限月のドバイ原油の平均価格	当限月の14:00-14:30間に取引が実行されたGlobexの加重平均価格、その翌限月は14:28-14:30間の加重平均価格	19:28～19:30（ロンドン時間）の間に約定した加重平均価格	16:25～16:30（シンガポール時間）の間に約定した当月限の加重平均価格
出来高（2024年）	1,407,973枚/年	127,170,812枚 2025年1～6月合計	291,946,997枚	1,318,466枚

出所: 各取引所のウェブサイトの情報等を基に作成した。